

部局名:地域連携・交通部

令和6年度当初予算知事査定ヒアリング

| 順番 | 項目 | 事業費(千円) | 頁 |
|----|-----------------|---------|---|
| 1 | 移動手段の確保に向けた総合対策 | 865,115 | 1 |
| 合計 | | 865,115 | |

地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業（129,900千円）

高齢者等の移動ニーズ把握（9,730千円）

① 地域座談会の開催（新）

- 高齢者や若者との意見交換等を通して **地域の実情やニーズのきめ細かな把握**
- 市町と連携し、地域の寄り合いの場などを活用して座談会を開催



② 地域の輸送サービスの分析・検討（新）

- 各地域の輸送サービスの現状を把握（国・県・特定市町の課長勉強会の実施など）
- 県内29市町との交通施策検討会（**自家用有償旅客運送制度**など）

移動手段の導入（100,000千円）

大幅予算増！

③ 移動手段の確保・乗継環境整備への支援（一部新）

- 市町等の取組を、**調査から実証事業、定着まで切れ目なく支援（1～3か年程度）**
（1年目：**調査+実証事業**）⇒ 2年目：**検証+本格運行** ⇒ 3年目：**検証+定着**）
- 補助上限額のひき上げ
- 交通結節点における待合所整備など **乗継環境の整備**

④ 地域内交通ネットワーク構築の市町重点支援（新）

- 重点支援
人口や地域特性、域内の公共交通などの状況に応じた移動サービス検討のため、**モデル市町を選定して面的・集中的な支援**



運転士不足への対応（19,000千円）

⑤ 運転士確保の取組（新）

- 深刻な運転士不足をふまえ交通事業者に対し、運転士募集フェアなど **人材確保の取組を支援**
- **一般ドライバーを活用した輸送サービスの導入の検討、ドライバーの養成などを支援**
- 各市町が取り組む自動運転の導入への補助



鉄道活性化促進事業（22,940千円）

⑥ 大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証事業（新）

- **大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行**、列車を含めた旅行商品の造成
- 沿線自治体や団体等による観光プロモーションの強化

⑦ 駅からの二次交通実証事業（新）

- 駅から工場集積地や教育機関を結ぶ **バス実証運行**を支援

その他鉄道関連（342,275千円）

⑧ 鉄道軌道安全輸送設備等整備

- 鉄道事業者が、安全な鉄道輸送を確保するために実施する鉄道施設整備への支援



地方バス路線維持確保事業（345,000千円）

⑨ 地域間幹線バスへの支援

- 幹線バス（R5:45系統）への支援
- 利用者が少ない系統の維持確保に向けて、地域別のワーキンググループを開催し、利便増進実施計画の策定等の支援

⑩（再掲）熊野古道伊勢路における二次交通の調査・実証（25,000千円）※南部地域振興局

- 熊野古道来訪者の交通ルートや手法について調査を行い、実証運行を実施

